

長寿社会のまちづくりを考えるシンポジウム
多世代が安心して住み続けられるまちづくりを目指して
 ～産学官民の連携による地域づくり～

プログラム

時間	内容
13:00	プロローグ「長寿社会のまちづくりが目指すもの」 鎌倉市長 松尾 崇
13:15	基調講演「長寿社会にふさわしい鎌倉のまちづくり」 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山 弘子氏
13:45	事例報告（鎌倉市） ①「今泉台住宅地」での取組と今後の展望 ②「大船地域づくり会議」での取組と今後の展望
14:20	休憩
14:30	パネルディスカッション 「多世代が安心して住み続けられるまちづくりを目指して ～産学官民連携による地域づくり～」
15:50	質疑応答

登壇者紹介

基調講演 : 秋山 弘子 氏

イリノイ大学で Ph.D (心理学) 取得、米国の国立老化研究機構(National Institute on Aging) フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授(社会心理学)、日本学術会議副会長などを経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。専門=ジェロントロジー(老年学)。高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を20年にわたる全国高齢者調査で追跡研究。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりにも取り組む。超高齢社会におけるよりよい生のあり方を追求。

パネルディスカッション

<ファシリテーター>

- 鎌倉市政策創造専門委員 石井 和子 氏

<パネリスト>

- 今泉台町内会会長 田島 幸子 氏
- NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台理事長 丸尾 恒雄 氏
- 鎌倉市市民活動センター運営会議理事長 渡邊 公子 氏
- 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授 大原 一興 氏
- 株式会社 LIXIL 生活価値研究所 山地 裕子 氏
- 鎌倉市経営企画部長 比留間 彰 氏